

乳幼児期に多く見られる感染症

保育所における感染症対策ガイドライン
(こども家庭庁)

病 名	感染経路	潜伏期間	症 状	感染しやすい期間	登園(所)出来ない期間
インフルエンザ	飛沫 接触	1～4日	発熱、頭痛、関節痛、鼻水 咽頭痛、倦怠感、咳 筋肉痛、下痢等	症状がある期間(発症前24 時間から発病後3日程度ま でが最も感染力が高い)	発症した翌日から5日経過し、 更に解熱した翌日から3日を経過 するまで
新型 コロナウイルス	飛沫 接触 エアロゾル	3～14日	発熱、呼吸器症状、頭痛 倦怠感、消化器症状 鼻汁、味覚・嗅覚症状等	発症後5日間	発症した翌日から5日を経過し、 かつ症状が軽快した後、1日を経過 するまで
溶連菌感染症	飛沫 接触	2～5日	発熱、扁桃炎、舌が莓状に 赤く腫れる、発疹等	適切な抗菌薬治療を開始 する前と開始後1日間	抗菌薬の内服後24時間以上経過 するまで
咽頭結膜熱 (アデノウイルス)	飛沫 接触	2～14日	発熱、扁桃腺炎、結膜炎 下痢等	発熱、充血等の症状が出 現した数日間	発熱、充血等の主な症状が消失 した翌日から2日経過するまで
手足口病	飛沫 接触	3～6日	発熱、口腔粘膜・手足 臀部の発疹等	手足や口腔内に水疱・潰瘍 が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影 響がなく普段の食事がとれるまで
ヘルパンギーナ	飛沫 接触	3～6日	発熱、咽頭痛 口腔・咽頭水疱、下痢等	急性期の数日間(便の中に 1ヶ月程度ウイルスを排出 しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影 響がなく普段の食事がとれるまで
ヒトメタニューモ ウイルス	飛沫 接触	4～5日	発熱、鼻水、咳、頭痛 嘔吐、下痢等	症状が出始めてから3日～ 8日	解熱し咳等の症状が消失し、全身 状態が保育所での集団生活に適 応できる状態に回復するまで
RSウイルス 感染症	飛沫 接触	4～6日	発熱、咳、鼻水等	呼吸器症状がある期間	呼吸器症状が消失し、全身状態 が保育所での集団生活に適応で きる状態に回復するまで
感染性胃腸炎 (ノロ・ロタ・ アデノウイルス)	飛沫 接触	1～3日	嘔吐、下痢(ロタは白色便) 等	症状のある間と症状消失 後1週間(量は減少していく が数週間ウイルスを排出し ているので注意が必要)	嘔吐、下痢症状が治まり、普段の 食事がとれるまで
突発性発疹	飛沫	9～10日	発熱後(3～4日程度) 解熱と同時に発疹、下痢等		解熱し機嫌が良く、全身状態が保 育園(所)での集団生活に適応で きる状態に回復するまで
水痘 (水ぼうそう) 帯状疱疹	飛沫 接触	14～16日	かゆみ、全身の発疹(紅斑 水疱)、神経の痛み等	水泡出現2日前～全ての発 疹がかさぶたとなるまで	全ての発疹がかさぶたになるまで
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	飛沫 接触	16～18日	発熱、耳下腺・顎下腺 舌下腺の腫脹、痛み等	発症3日前から 耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫張 が発現した翌日から5日を経過 し、かつ痛みがなく普段の食事が とれるまで
マイコプラズマ 肺炎	飛沫	2～3週	咳、発熱、頭痛等	適切な抗菌薬治療を開始 する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まるまで
麻疹(はしか)	飛沫 接触 空気	8～12日	発熱、咳、鼻水 結膜充血、発疹、目やに 粘膜疹(コプリック斑)等	発症1日前から発疹出現後 の4日後まで	解熱した翌日から3日を経過する まで
風疹 (三日はしか)	飛沫 接触	16～18日	発熱、発疹(3日程度) リンパ節膨張等	発疹出現7日前から出現後 の7日まで	発疹が消えるまで
流行性角結膜炎	飛沫 接触	2～14日	目やに、結膜充血、流涙等	充血、目やに等の症状が出 現した数日間	結膜炎の症状が消失するまで
伝染性紅斑 (りんご病)	飛沫	4～14日	両頬の紅斑 四肢の網目状紅斑等	発疹出現前の1週間	全身状態が良く、保育園(所)での 集団活動に参加できる状態まで
とびひ	接触	2～10日	薄皮水疱又は 黄色かさぶた発疹、かゆみ	発疹が出ている期間	登園(所)の制限はないが、患部 はガーゼ等で覆う
水いぼ	接触	2～7週	かゆみ、痛みなし、1～3ミリの 光沢イボ		
アタマジラミ	接触	10～30日	かゆみ	シラミが付着してる期間	休園(所)の必要はなし

※登園(所)できない期間は、集団生活での蔓延防止を目的として作られています。

※発熱があった場合は、必ず解熱後24時間以上経過してからの登園(所)をお願いします。